

～真珠養殖発祥のまち・海女が日本一多いまち～

伊勢志摩サミット鳥羽おもてなし会議 会議録

| | |
|----------|---|
| 会議の名称 | 第1回伊勢志摩サミット鳥羽おもてなし会議 |
| 開催日時 | 平成28年6月28日(火) 14:30～16:30 |
| 開催場所 | 鳥羽市民文化会館3階中会議室 |
| 議題 | 1. 伊勢志摩サミットの開催について 2. 三重県民会議の取り組みについて 3. 当おもてなし会議の取り組みについて 4. ポスト・サミット対策について 5. その他 |
| 会議資料 | 【事項書】 【席次表・構成員名簿】 【資料1-1】伊勢志摩サミットの日程・成果 【資料1-2】配偶者プログラム 【資料2-1】プレスツアーによる情報発信 【資料2-2】三重県情報館 【資料2-3】三重のおもてなしバッグ 【資料2-4】関係者の宿泊について 【資料3-1】伊勢志摩厳選食材フェア 【資料3-2】御潜神事再現イベント及び外務省プレスツアー 【資料3-3】海外メディア歓迎晚餐会 【資料3-4】世界との絆づくり 【資料4-1】三重県のポストサミット対策 【資料4-2】鳥羽市におけるポストサミット対策の協議 |
| 公開・非公開の別 | 公開 |
| 出席者(敬称略) | <顧問> 三重県議会議員 中村 欣一郎、鳥羽市議会議員 浜口 一利 <委員> 鳥羽市自治会連合会長 傍島寛、鳥羽商工会議所会頭 松田音壽(代理)、鳥羽市観光協会会長 吉川勝也、鳥羽市旅館組合連絡協議会長 寺田順三郎、近畿日本鉄道株式会社 鳥羽駅長 高森正浩、東海旅客鉄道株式会社伊勢市駅長 橋本正巳(代理)、三重交通株式会社伊勢営業所長 中林広己、伊勢湾フェリー株式会社取締役社長 福武章夫(代理)、三重県タクシー協会志摩支部長 上野文和、市長 木田久主一、企画財政課長 上村和弘、農水商工課長 中村菊也(代理)、観光課長 清水敏也、環境課長 池田雄則、健康福祉課長 下村悦男、消防長 益田由典、教育委員会総務課長 世古雅人 <オブザーバ> 鳥羽海上保安部、鳥羽警察署、三重県伊勢志摩サミット推進局 中村孝之 |
| 欠席者(敬称略) | <委員> 鳥羽磯部漁業協同組合代表理事組合長 永富洋一、建設課長 南川則之、定期船課長 齋藤貞之 <オブザーバ> 鳥羽海事事務所長 木原 盛意 |
| 事務局 | [鳥羽市総務課] 寺田、奥村、小崎 |

開会・会長あいさつ

1. 伊勢志摩サミットの開催について

資料 1-1、1-2 を用い、事務局より公式行事関係の報告を行った。

(意見・質問)

顧問：成果文書において、海洋ゴミ対処においてのコミットメントがあり、鳥羽にも関わりがあるので、注視していただきたい。

2. 三重県民会議の取り組みについて

資料 2-1～2-4 を用い、事務局より鳥羽市が関係する県の取り組みの報告を行った。

(意見・質問)

委員：サミット協力宿泊施設経営向上支援補助金について、補助額の上限と下限が記されているが、これはどのように決定されるのか。

事務局：100%補助であり、申請者の申請額により決定される。

委員：この補助については県の取り組みであるが、市はこの取り組みに並行して予算を組んでいく考えはあるか。

会長：宿泊取消等についての補てんのような事は今のところ考えていないが、皆様や市議会からの要請等により検討したい。

委員：サミットを活かしていこうという取組を考えている。そういった際には、またよろしく願いたい。

委員：数社の旅館でかなり損失が出たところがあると聞いているが、そういった責任問題という意味ではなく、市全体で前向きな取り組みをするなどの検討をお願いしたい。

委員：この補助を受けるためには、経営計画のステップ 2・3 の提出が必須。商工会議所ではすでに関係旅館に説明に歩いている。

3. 当おもてなし会議の取り組みについて

資料 3-1、3-2、3-3、3-4 を用い、事務局及び担当委員より鳥羽おもてなし会議の取り組みの報告を行った。

(意見・質問)

委員：伊勢志摩厳選食材フェアの来場者数は何人か。

委員：全体の来場者数についての資料はない。

委員：こういうイベントについては、大手旅行会社等への案内を行うと今後の誘客にもつながるので、今後そういった配慮もお願いしたい。

4. ポスト・サミット対策について

資料 4-1、4-2 を用い、委員間で協議を行った。主な意見・提案は次の通り。

【「サミット開催地・伊勢志摩」の活用】

- ・内外に向け、サミット開催地に選ばれた特別感を繰り返し発信。
- ・国際会議の誘致強化と、鳥羽ならではの特徴ある MICE の研究。

【観光全般及び国内観光】

- ・首脳会議開催市として注目された志摩市に観光の重心が動くことへの対処。
- ・真珠・海女・食文化・答志島等、サミットで注目された素材を地道かつ継続的に情報発信。
- ・おもてなし会議で PR した素材に足を運んでいただけるような具体的取組。(マップ等)
- ・警備関係者等へのキャンペーン、継続案内。
- ・離島観光の振興。

【インバウンドの強化】

- ・全国に 12 しかない「国際観光文化都市」としての位置づけ・あり方を再考。
- ・当おもてなし会議が行った「海外メディア歓迎晩餐会」の継続。

- ・外務省とのつながりの強化。
- ・外客船誘致及び臨時入管の設置。

【サミットを契機とした産業・文化等の振興】

- ・大都市圏における物産展の開催。
- ・鳥羽の真珠の販売促進。
- ・海女文化ユネスコ無形文化遺産登録活動の加速と漁業としての支援。
- ・市民の健康づくりとウォーキングのまちの PR 促進。(カナダ首相夫妻が散策した青峯山)

5. その他

事務局から監事の変更と次回会議について報告があった。

～閉会～